⑩ 日本 国特 許 庁 (JP) ⑪実用新案出願公開

☞ 公開実用新案公報(U) 昭64-8533

⑤Int Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和64年(1989)1月18日

F 02 B 77/00

C = 6673 - 3G

審査請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称 -

強制空冷エンジンのマグネトーカバー

②実 願 昭62-103363

②出 願 昭62(1987)7月7日

砂考 案 者

倉田

光 次 静岡県浜松市佐浜町3645-3

①出 願 人 鈴木自動車工業株式会

静岡県浜名郡可美村高塚300番地

社

④代理人 弁理士藤本博光 外2名

明 細 書

1. 考案の名称

強制空冷エンジンのマグネトーカバー

2. 実用新案登録請求の範囲

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この考案は、小型のオートバイやスクーター等 に用いる強制空冷エンジンのマグネトーカバーに



関する。

(従来の技術とその問題点)

スクーター等のエンジンには、強制空をしてからない。そのエンジンは、ある。そのでは、いるスプロケースでは、から、は、サインをといって、から、は、サインが、から、は、サインが、から、ない。では、サインが、から、ない。では、サインが、から、ない。では、ない。では、ない。では、ない。

(考案の目的)

この考案は、クランクケースの一側に突出させたかかった。 がおりたマグネトーをマガバーでおいた。 がいるでである。 がいるでは、だっし、前のでがあります。 を少なるがった。 はなかないでは、ないでき、体数を少なくして安価に制作でき、体現のマグネトーカバーを得ること



を目的とする。

(考案の構成)

以下、木考察を図面に示す実施例によって説明する。

第1図及び第2図は、本考案の一実施例を示すものである。



方に延長して、シリンダー10の側面に合せ、冷 切ファンカバーを兼用させてある。マグネトーカバー7は、クランクケース2の側面に合せて締着 する。

第3図は、木考案の他の実施例を示すものである。この場合は、外カバー8と内カバー9で構成するマグネトーカバー7で、前述の実施例と逆に、内カバー9は後側を短くし、外カバー8の後側を延して、外カバー8で、スプロケット6部分を して、外カバー8で、カルケット6部のの ものと同一である。

(考案の作用)



上げることができる。

(考案の効果)

4.図面の簡単な説明

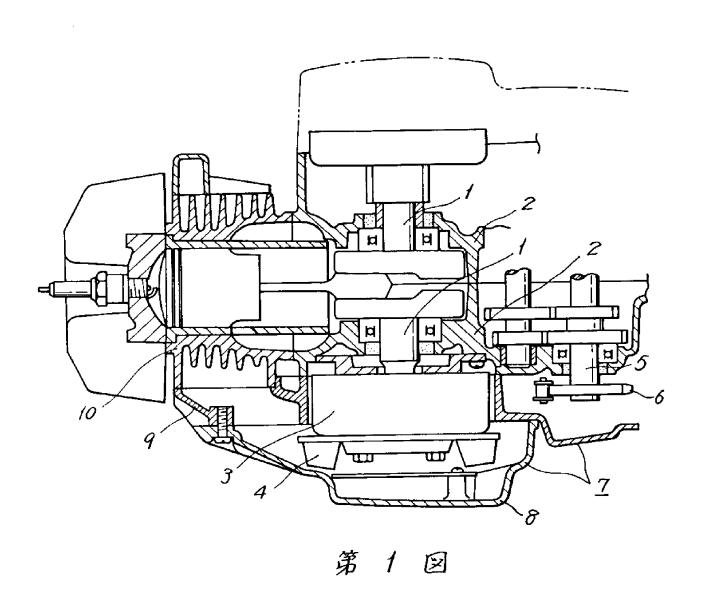
第1図及び第2図は本考案の一実施例を示し、 第1図は縦断平面図、第2図は側面図、第3図は



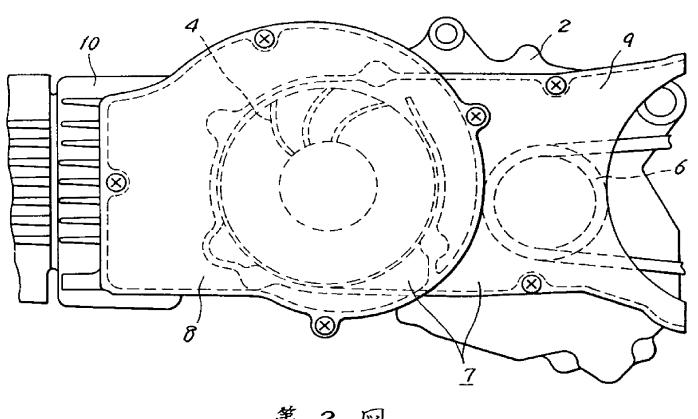
木考案の他の実施例を示す報断平面図である。

1 … クランク軸、 2 … クランクケース、 3 … マグネトー、 4 … 冷却ファン、 5 … 出力軸、 6 … スプロケット、 7 … マグネトーカバー、 8 … 外カバー、 9 … 内カバー、 1 0 … シリンダー。

出願人代理人 藤 本 博 光



437, 代理人 藤 本 博 光 実際経-8533. 训



第 2 図

438 本 博光 代理人 藤

実期64-8533 1川

